



建築物総合環境計画概要書 新築

■使用評価マニュアル：CASBEE大阪みらい（新築） I使用評価ソフト：「CASBEE大阪みらい 新築」2024年版 (v.1.0.2)

1-1 建物概要		1-2 外観
建物名称	(仮称)大阪市福島区福島7丁目計画 新築工事	
建設地	福島区福島7丁目	
建物用途	共同住宅(賃貸)	
建築主	(株)セゾンリアルティ	
設計者	(株)エム・ケイ設計事務所	
竣工年	2027年12月 予定	
構造/階数	RC造 / 地上12階	
敷地面積	419.97 m ²	
建築面積	217.32 m ²	
延床面積	2159.67 m ²	

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ホールライフカーボン (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
B+ BEE = 1.0 S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B-: ★★★★★ C: ★	★☆☆☆☆ 60%: ★☆☆☆☆ 80%: ★☆☆☆☆ 100%: ★☆☆ 100%超: ☆ 標準計算 ①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外のオンサイト手法 ④上記+オフサイト手法 (kg-CO₂eqe/年・m²) このグラフはLR3.1「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたWLC排出量の目安で示したものです。 ④は参考として運用分をBEI+で表示しています。	

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q のスコア= 2.9

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.1

項目	スコア
音環境	3.2
温熱環境	2.4
光・視環境	3.5
空気質環境	3.6
平均スコア	3.1

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.9

項目	スコア
機能性	3.0
耐用性・信頼性	2.9
対応性・更新性	2.8
平均スコア	2.9

Q3 室外環境（敷地内）

Q3のスコア= 2.7

項目	スコア
生物環境	2.0
まちなみ・景観	3.0
地域性・アメニティ	3.0
平均スコア	2.7

LR 環境負荷低減性

LR のスコア= 3.1

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.1

項目	スコア
建物外皮の熱負荷	3.0
自然エネルギー	2.0
設備システム効率化	3.4
効率的運用	3.0
平均スコア	3.1

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.3

項目	スコア
水資源保護	3.0
非再生材料の使用削減	3.4
汚染物質回避	3.6
平均スコア	3.3

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.0

項目	スコア
地球温暖化への配慮	3.2
地域環境への配慮	2.8
周辺環境への配慮	3.1
平均スコア	3.0

3 設計上の配慮事項		
総合 特になし。		その他 特になし。
Q1 室内環境 専有部は自然光を十分取り込めるよう計画し、自然エネルギーの活用により環境負荷の低減を図るとともに、快適な室内環境の確保に努めた。	Q2 サービス性能 維持管理に配慮した設計、耐用年数の長い配管材料を採用するなど耐用性、信頼性に配慮している。	Q3 室外環境(敷地内) 特になし。
LR1 エネルギー 外皮性能の向上を図るとともに、LED照明を採用し、エネルギー消費の低減に務めている。	LR2 資源・マテリアル 省資源化に配慮し、リサイクル材を採用したほか、断熱材にはODPが低いものを使用した。	LR3 敷地外環境 敷地内には可能な限り緑地を設けたほか、敷地入口付近に樹木を計画することで、周囲に溶け込む建物となるように配慮した。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
■「ホールライフカーボン(WLC)」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の温室効果ガス排出量のこと。ここでは、建築物の寿命年数で除した年間温室効果ガス排出量で表示。
■評価対象のWLC排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

建築物環境性能表示 結果〔重点評価〕

総合評価BEE = 1.0

ラベル表示



環境性能		評価点
(1)CO2削減		3.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR3/ 1 / /	地球温暖化への配慮	3.2
配慮事項		

環境性能		評価点
(2)みどり・ヒートアイランド対策		3.0
みどり・ヒートアイランド対策に配慮した環境性能		概要記入欄
Q3 / 1 / /	生物環境の保全と創出	2.0
Q3 / 3 /3.2/	敷地内温熱環境の向上	3.0
LR3/ 2 /2.2/	温熱環境悪化の改善	3.0
配慮事項		

環境性能		評価点
(3)建物の断熱性		3.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR1/ 1 / /	建物の熱負荷抑制	3.0
配慮事項		日本住宅性能表示基準「5-1断熱等性能等級」における等級4相当

環境性能		評価点
(4)エネルギー削減		3.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR1/ 3 / /	設備システムの高効率化	3.4
配慮事項		BEI=0.48

省エネルギー基準計算結果

基準適合状況	適合
--------	----

※ 外皮性能については、住宅部分が等級4（相当）以上、非住宅部分が1.0以下であること
※ 住宅部分の一次エネルギー消費量については、BEIが1.0以下であること
※ 非住宅部分の一次エネルギー消費量については、「建築物エネルギー消費性能基準等を定める省令（以下、「省令」という）」第1条第1項第1号もしくは、省令第1条第1項第3号に掲げる基準以下であること。

外皮性能	住宅部分（品確法等級）	非住宅部分[BPI][BPI _m]
	等級4（相当）	-
一次エネルギー消費量	住宅部分[BEI]	非住宅部分[BEI][BEI _m]
	0.86	-